

令和元年度 埋蔵文化財講座

赤 夷 の 蝦



湯舟沢Ⅲ遺跡出土
赤彩球胴甕のルーツを探る！

い 土 器

とき
令和元年 **12月7日** 土
13:00～16:30

ところ
滝沢市埋蔵文化財センター 研修室

入場無料・事前申し込み不要

定員
60名

お問い合わせ先

滝沢市埋蔵文化財センター

〒020-0617 岩手県滝沢市湯舟沢327-13

TEL: 019-694-9001 FAX: 019-694-9007

Email: maibun@city.takizawa.iwate.jp

湯舟沢Ⅲ遺跡出土 赤彩球胴甕 (8世紀)

令和元年12月7日(土) 埋蔵文化財講座日程

- ◆12:30~13:00 開場・受付
- ◆13:00~13:10 開会行事
- ◆13:10~13:50 **講演Ⅰ** (40分)
「蝦夷の赤い土器—赤彩球胴甕とは?—」
杉本 良氏 (北上市立博物館 館長)
- ◆13:50~14:20 **講演Ⅱ** (30分)
「東北北部の古代赤彩土器
—奈良時代の赤彩文化を中心に—」
米田 寛氏 (岩手県立博物館専門学芸員)
- ◆14:20~14:30 休憩 (10分)
- ◆14:30~15:00 **講演Ⅲ** (30分)
「東北北部型土師器と赤彩」
宇部 則保氏 (八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館
発掘専門員)
- ◆15:00~15:30 **講演Ⅳ** (30分)
「考古資料からみた栗原・桃生以北
—赤彩球胴甕境界域の様相—」
村田 晃一氏 (宮城県多賀城跡調査研究所上席主任研究員)
- ◆15:30~15:40 休憩 (10分)
- ◆15:40~16:30 **パネルディスカッション** (50分)
「赤彩球胴甕のルーツと系譜を探る」
司会：**井上 雅孝** (滝沢市埋蔵文化財センター主任主査)
パネリスト：上記講師陣
- ◆16:30~ 閉会



講演 講師紹介



杉本 良氏
(北上市立博物館 館長)

1961年群馬県前橋市生まれ。
赤彩球胴甕、古代東北仏教寺院
などを研究。

著作に「岩手県北上盆地における蝦夷集団の動態—北上市藤沢遺跡の再検討から—」『考古学研究』117号(1998年)、「赤彩球胴甕再考(1)」『北上市立埋蔵文化財センター紀要』2号(2001年)など



米田 寛氏
(岩手県立博物館専門学芸員)

1974年北海道函館市生まれ。
赤彩球胴甕、古代東北の土器な
どを研究。

著作に共著「岩手県における古墳時代から平安時代の赤彩土器研究(1)~(3)」『岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター紀要』36・37・38号(2017・2018・2019年)など



宇部 則保氏
(八戸市埋蔵文化財センター
是川縄文館発掘専門員)

1957年岩手県久慈市生まれ。
北東北の古代土器、集落を研究。

著作に「北縁の蝦夷社会」『蝦夷と城柵の時代』(吉川弘文館、2015年)、「本州北縁地域の蝦夷社会とそのくらし」『図録 蝦夷—古代エミシと律令国家—』(東北歴史博物館、2019年)など



村田 晃一氏
(宮城県多賀城跡調査研究所
上席主任研究員)

1959年福島県相馬郡飯舘村生まれ。
南東北の古代土器、官衙、集落
を研究。

著作に「版図の拡大と城柵」『蝦夷と城柵の時代』(吉川弘文館、2015年)、「土器・家・ムラからみた蝦夷と柵戸」『図録 蝦夷—古代エミシと律令国家—』(東北歴史博物館、2019年)など